

授業概要

インターンシップⅡは3年次にインターンシップを体験しようとする学生のための授業です。インターンシップ実習は受講者自らが受入先を選択し、応募し、採用されて初めて実施可能になります。このことから、授業は、事前指導と実習を経験した学生の事後指導とに分かれます。

また、春期に登録する科目ですが、夏季休業中の一定の要件を満たしたインターンシップ実習の実施を前提としているため、9月の秋期開始前に事後指導を行った後に単位認定を行います。学生は、これらすべてに出席していなければなりません。

授業計画

第1回	事前指導	事前ガイダンス（インターンシップⅡの進め方）とインターンシップの意義
第2回		実習を想定したグループワーク①
第3回		応募書類の作成準備①（自己分析）
第4回		応募書類の作成準備②（自己PR）
第5回		職種と業界
第6回		実習を想定したグループワーク②
第7回		応募先の検索①（検索方法と応募先の検索）
第8回		応募先の検索②（応募先の検索と応募書類）
第9回		応募書類の作成③（自己PRと志望動機など）
第10回		インターンシップを実施する上でのマナー①（ビジネスマナー）
第11回	インターンシップを実施する上でのマナー②（誓約書や実施条件等の確認）	
第12回	事後指導	実習日誌の整理と要件の確認等
第13回		実習後の反省や今後（就活）に向けての課題の検討
第14回		インターンシップ報告書の作成準備・プレゼンの準備
第15回		（報告会）プレゼンテーション
第16回		報告書の提出（予定）

※ 内容は適宜変更する可能性があります。

到達目標

インターンシップ実習を通じた就業意識の向上と就職活動の準備。

履修上の注意

- ・第1回目の授業に必ず出席すること。
- ・単位取得のためには、通常の授業への出席に加え、
- ①一定の要件を満たしたインターンシップ実習を体験すること、②事後指導を受けることが条件になります。
- なお、実習先は、一部紹介可能な場合がありますが、マッチング等の問題で必ずしも実施に至るわけではありません。したがって、自らが受入先を探し、要件を満たす実習を行う必要があります。
- ・授業の趣旨から、卒業年次生は登録を遠慮してください。

予習復習

- ・予習：新聞等で社会的な出来事に関する情報を入手する。
- ・復習：授業後に内容をレポートとしてまとめる。

評価方法

- ・平常点を50%と実習50%（インターンシップの実習日誌、実習先の評価、プレゼンテーション、レポートなど）を目安として総合的に評価します。
- ・授業の性質上、遅刻、欠席、受講姿勢に対しては厳しく対応します。
- 詳しくは第1回目の授業でお話します。

テキスト

- ・未定（開講時に指示する）。